

14 教 育 委 員 会

学校施設

1 小学校 (36校)

平成28年(2016年)5月2日現在

小学校名	児童数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)		屋内 運動場 (㎡)	プ ー ル (m)	
			建 物	屋 外 運 動 場	計	鉄 筋	鉄骨 その他			
吹田第一	280	16	4,224	4,154	8,378	4,394	83	4,477	25×8	15×4
吹田第二	354	17	7,617	5,799	13,416	6,156	148	6,304	25×10	12×5
吹田第三	534	22	2,891	5,899	8,790	5,490	151	5,641	25×10	12×5
吹田東	317	15	5,712	6,630	12,342	5,757	81	5,838	25×10	7×7
吹田南	731	26	5,365	7,315	12,680	5,787	142	5,929	25×10	10×6
吹田第六	279	12	7,665	8,280	15,945	5,518	117	5,635	25×10	12×5
千里第一	795	26	9,690	4,562	14,252	6,000	257	6,257	25×10	12×5
千里第二	910	30	9,172	10,189	19,361	6,826	153	6,979	25×15	12×5
千里第三	945	32	7,767	8,625	16,392	6,208	79	6,287	25×10	12×5
千里新田	768	27	7,627	7,438	15,065	5,724	350	6,074	25×10	10×6
佐井寺	695	25	6,619	7,669	14,288	5,807	394	6,201	25×10	10×6
東佐井寺	674	25	6,183	9,642	15,825	6,298	205	6,503	25×10	10×6
岸部第一	290	14	7,303	9,377	16,680	8,687	195	8,882	25×13	10×15
岸部第二	558	22	7,156	7,990	15,146	6,566	101	6,667	25×15	12×5
豊津第一	1,063	38	5,895	7,011	12,906	6,845	119	6,964	25×8	12×5
豊津第二	604	22	6,039	7,185	13,224	6,848	130	6,978	25×10	12×5
江坂大池	428	16	4,615	6,507	11,122	5,714	148	5,862	25×10	12×5

2 中学校 (18校)

平成28年(2016年)5月2日現在

中学校名	生徒数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)			校舎面積 (㎡)		屋内運動場 (㎡)	プール (m)
			建物	屋外運動場	計	鉄筋	鉄骨その他		
第1	800	25	13,384	9,765	23,149	7,027	77	1,054	25 × 15
第2	338	12	12,869	13,055	25,924	11,760	36	2,906	25 × 15
第3	275	11	7,575	12,041	19,616	5,953	128	1,010	25 × 15
第5	502	18	6,459	10,747	17,206	5,557	54	1,065	25 × 15
第6	514	18	6,156	12,459	18,615	4,974	237	994	25 × 15
片山	757	23	12,287	12,480	24,767	7,843	232	1,011	25 × 15
寺井	718	22	8,175	10,647	18,822	7,467	158	1,016	25 × 15
南千	365	13	16,711	12,260	28,971	5,563	150	1,011	25 × 15
豊津	696	23	8,598	9,886	18,484	6,345	249	1,018	25 × 15
豊津	375	14	8,190	8,097	16,287	7,042	192	1,010	25 × 15
山田	703	21	6,028	9,524	15,552	5,194	616	1,023	25 × 15
西山	527	17	9,040	14,248	23,288	5,732	150	1,010	25 × 15
山田	518	17	8,646	12,404	21,050	6,340	227	1,018	25 × 15
千丘	793	25	7,974	14,065	22,039	5,413	615	1,010	25 × 15
高野	307	12	10,530	11,837	22,367	4,678	200	943	25 × 15
青山	353	11	20,351	19,190	39,541	6,944	179	968	25 × 15
竹見	273	11	16,251	10,871	27,122	6,316	160	992	25 × 15
古江	388	15	21,722	21,975	43,697	5,116	153	995	25 × 15
合計	9,202	308	200,946	225,551	426,497	115,264	3,813	20,054	18 校

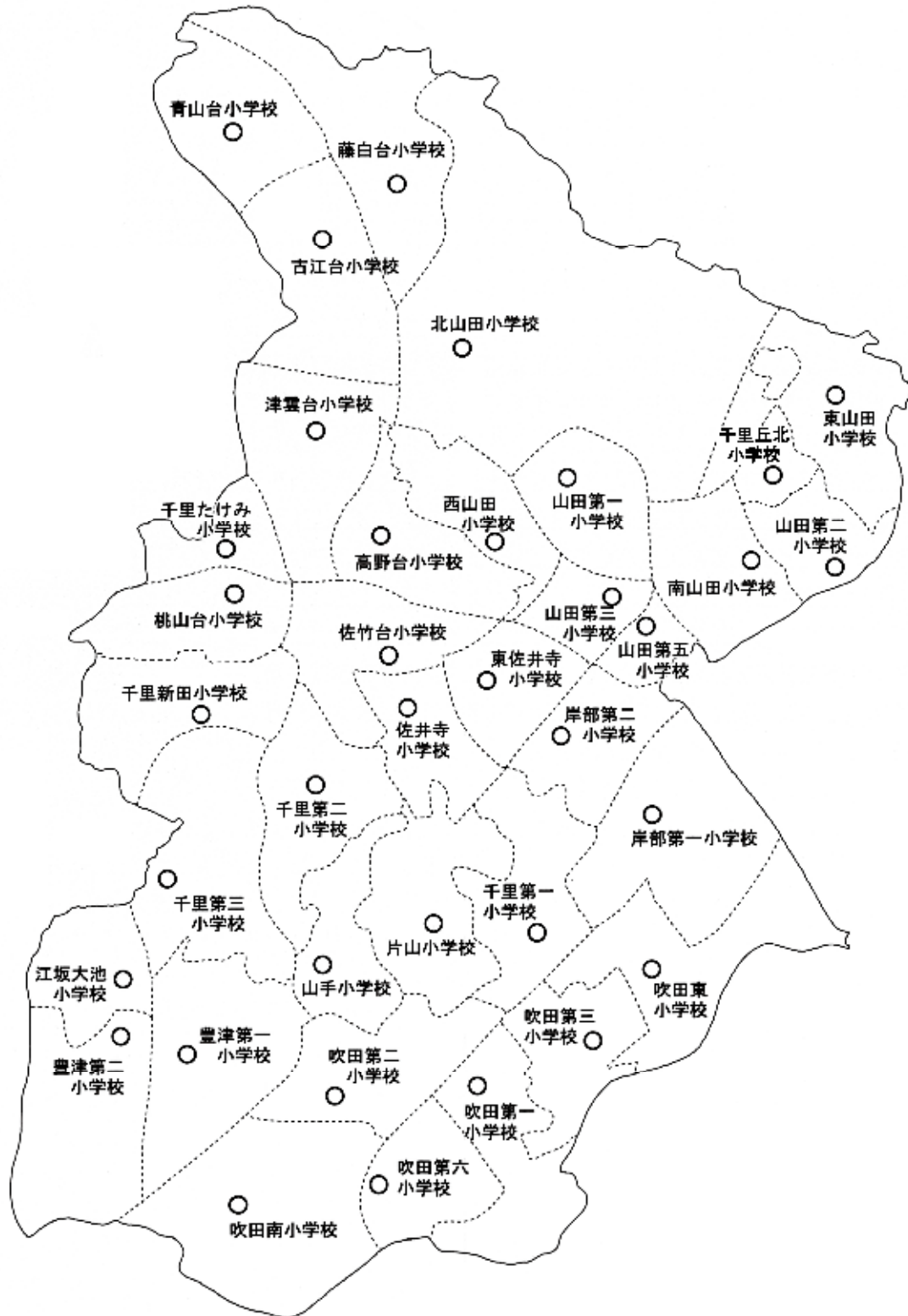
3 幼稚園 (16園)

平成28年(2016年)5月1日現在

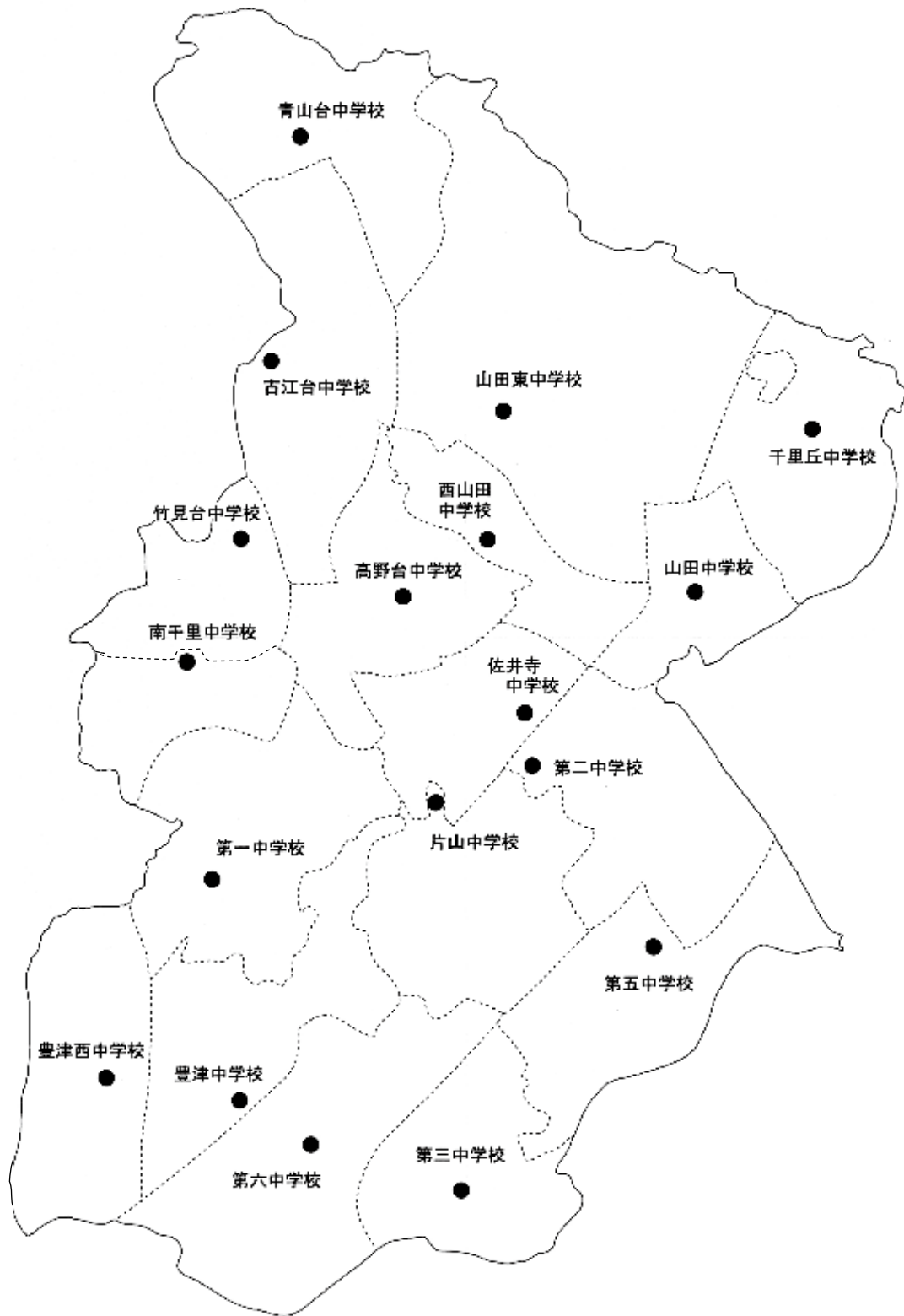
幼稚園名	園児数 (人)	学級数	園地面積 (㎡)			園舎面積 (㎡)			プール (m)
			建物	屋外 運動場	計	鉄筋	鉄骨 その他	計	
吹田第一	26	1	888	1,127	2,015	686	208	894	5 × 5
吹田第三	32	2	1,258	723	1,981	672	11	683	5 × 5
吹田南	47	2	870	1,128	1,998	728	18	746	5 × 5
千里第二	72	3	991	1,189	2,180	615	11	626	5 × 5
千里新田	67	2	2,275	903	3,178	690	11	701	5 × 5
東佐井寺	73	3	932	1,262	2,194	617	11	628	5 × 5
岸部第一	49	2	1,027	1,072	2,099	794	19	813	5 × 5
豊津第一	68	3	1,099	1,112	2,211	741	10	751	5 × 6
江坂大池	48	2	1,355	703	2,058	664	11	675	5 × 5
片山	56	2	1,242	893	2,135	616	10	626	5 × 5
山田第一	38	2	2,052	1,348	3,400	710	11	721	6 × 3.17
山田第三	40	2	881	748	1,629	774	9	783	7 × 3.5
東山田	83	3	1,533	901	2,434	618	11	629	5 × 5
南山田	66	3	1,002	813	1,815	591	9	600	5 × 5
佐竹台	67	3	4,690	1,201	5,891	271	1,029	1,300	6 × 6
古江台	36	2	1,232	811	2,043	0	0	0	—
合計	868	37	23,327	15,934	39,261	9,787	1,389	11,176	16園

※古江台幼稚園舎は解体のため、古江台小学校を一時使用

4 市立小学校・校区図



5 市立中学校・校区図



小学校・幼稚園の安全対策

1 趣旨及び目的

子供たちの安全確保を目的に、警備員等を配置し、校門付近を常時監視することで、来校園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止、抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施する。

2 事業概要

- (1) 開始年月日 平成17年(2005年)5月16日
- (2) 実施場所 市立小学校36校、市立幼稚園16園
- (3) 内容 民間警備会社等に委託し、校門に警備員又は受付員(各施設1名)を配置
- (4) 経費 (単位:千円)

年度 区分	平成25 (2013)	平成26 (2014)	平成27 (2015)
小学校	57,492	59,625	61,246
幼稚園	10,902	11,502	11,905

各種援助制度

1 市立幼稚園及び市立認定こども園(教育部分)・私立幼稚園の保護者に対する助成(保育料)

幼稚園教育の一層の普及充実を図るため、園児の保護者を対象に、当該年度の市民税額及び世帯状況に応じ、市立幼稚園及び市立認定こども園(教育部分)や新制度に移行した私立幼稚園においては保育料の決定を、その他の私立幼稚園においては補助金を支給し、保護者の経済的負担の軽減に努める。

- (1) 市立幼稚園及び市立認定こども園(教育部分)の利用者負担額(保育料)について

平成27年(2015年)4月から子ども・子育て支援新制度が開始されたことにより、市立幼稚園及び市立認定こども園(教育部分)の利用者負担額は世帯の収入に応じた応能負担となった。各階層区分に応じた利用者負担額は下記表のとおりとし、平成29年度(2017年度)までは激変緩和措置を実施し、急激な利用者負担額の増額を軽減している。

《市立幼稚園及び市立認定こども園（教育部分）の利用者負担額の激変緩和に伴う措置について》

(単位：円/月)

階層区分			平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)
			措置 2 年目	完全実施
A	生活保護世帯	第 1 子	0	0
		第 2 子	0	0
		第 3 子以降	0	0
B	市民税 非課税世帯	第 1 子	0	0
		第 2 子	0	0
		第 3 子以降	0	0
C	市民税所得割 非課税世帯	第 1 子	2,000	2,000
		第 2 子	1,000	1,000
		第 3 子以降	0	0
D1	市民税所得割 48,600 円以下	第 1 子	6,000	6,000
		第 2 子	3,000	3,000
		第 3 子以降	0	0
D2	市民税所得割 58,000 円以下	第 1 子	8,000	8,000
		第 2 子	4,000	4,000
		第 3 子以降	0	0
D3	市民税所得割 67,000 円以下	第 1 子	9,200	9,200
		第 2 子	4,600	4,600
		第 3 子以降	0	0
D4	市民税所得割 77,100 円以下	第 1 子	10,000	10,000
		第 2 子	5,000	5,000
		第 3 子以降	0	0
D5	市民税所得割 103,000 円以下	第 1 子	10,500	12,600
		第 2 子	6,300	6,300
		第 3 子以降	0	0
D6	市民税所得割 211,200 円以下	第 1 子	10,500	13,600
		第 2 子	6,800	6,800
		第 3 子以降	0	0
D7	市民税所得割 366,900 円以下	第 1 子	13,600	17,600
		第 2 子	7,167	8,800
		第 3 子以降	0	0
D8	市民税所得割 366,901 円以上	第 1 子	17,600	22,000
		第 2 子	8,800	11,000
		第 3 子以降	0	0

※第1子…小学生1～3年生の兄又は姉がいない場合の1人就園又は同一世帯から2人以上就園している最年長者

※第2子…同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が1人いる場合で就園している最年長者

※第3子以降…同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が2人以上いる場合で就園している最年長者以降又は小学校1年生から3年生までの兄・姉が1人いる場合で就園している次年長者以降

※2号認定子どもが特例で幼稚園等を利用する場合については、小学校1～3年生の兄又は姉がいる場合の第2子以降のカウントは対象にはならない。

(2) 新制度に移行した私立幼稚園の利用者負担額（保育料）について

上記の市立幼稚園等と同様の保育料となる。ただし、市立幼稚園等に適用している経過措置はなし（上記表の平成29年度（2017年度）完全実施の欄となる）。

(3) その他の私立幼稚園の園児の保護者に対する助成（満3・3～5歳児が対象）

ア 就園奨励費補助金

イ 保護者補助金

平成28年度(2016年度)(単位：年額 円)

区 分	基 準	補助金支給額合計		補助金内訳				
		満 3 ・ 3 歳 児	4 歳 ・ 5 歳 児	就園奨励費補助金	保護者補助金			
				満3・3・4・5歳児	満 3 ・ 3 歳 児	4 歳 ・ 5 歳 児		
A	生活保護世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
B	市民税非課税・所得割非課税世帯 (ひとり親世帯等)	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
	市民税非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	272,000	279,500	272,000	0	7,500
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	290,000	290,000	290,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
	市民税所得割非課税世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	272,000	272,000	272,000	0	0
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	290,000	290,000	290,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
C	市民税所得割額77,100円以下の世帯 (ひとり親世帯等)	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	217,000	217,000	217,000	0	0
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	308,000	308,000	308,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
	市民税所得割額77,100円以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	145,200	145,200	115,200	30,000	30,000
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	211,000	211,000	211,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
D	市民税所得割額77,100円を超え、211,200円以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	92,200	113,800	62,200	30,000	51,600
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	185,000	185,000	185,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
E	市民税所得割額211,200円を超え、366,900円以下の世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	30,000	66,000	—	30,000	66,000
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0
F	市民税所得割額366,900円を超える世帯	第1子	1人就園の場合及び同一世帯から2人以上就園している場合の最年長者	15,000	15,000	—	15,000	15,000
		第2子	同一世帯から2人以上就園している場合の次年長者	154,000	154,000	154,000	0	0
		第3子以降	同一世帯から3人以上就園している場合の3人目以降の園児	308,000	308,000	308,000	0	0

(注)補助金は、兄弟がいる場合（A、D、E、F階層については小学校1年生から3年生が対象）は、別途基準表により補助金額に変動がある。

支給者及び支給総額

年度	区分	就 園 奨 励 費		保 護 者 補 助 金	
		人 員	支 給 額 (円)	人 員	支 給 額 (円)
平成25(2013)		3,070	321,046,735	4,242	170,033,925
" 26(2014)		3,961	504,109,800	3,562	146,864,882
" 27(2015)		4,029	531,196,102	3,432	140,509,300

2 小・中学校就学援助制度

(1) 実施時期

毎年度4月に受付（期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。）

(2) 趣 旨

吹田市立小・中学校に在籍する児童・生徒で経済的理由により就学が困難な場合にその保護者に対して学用品費、小学校の学校給食費、修学旅行費、学校保健安全法に定める疾病の治療のための医療費等必要な援助を行う。

(3) 支給対象

申請者の世帯全員の前年分の所得合計額が生活保護基準に基づいて算定したその世帯の生活費の1.2倍以内の者。

(4) 支給者及び支給総額（医療費を含まず。）

年度	区分	小 学 校		中 学 校	
		人 員	支 給 額 (円)	人 員	支 給 額 (円)
平成25(2013)		3,788	223,071,806	2,254	120,961,572
" 26(2014)		3,499	213,816,822	2,115	115,221,127
" 27(2015)		3,209	195,954,656	2,009	108,162,566

3 高等学校等学習支援金制度

(1) 実施時期

毎年度4月に募集（期間後も随時受付をするが、認定は受付月からとする。）

(2) 趣 旨

高等学校、特別支援学校の高等部、高等専門学校、中等教育学校の後期課程又は専修学校（高等課程）在学中の者で、経済的理由によりその修学が困難な者に対して、学習支援金を支給する。

(3) 支給対象者

市内に居住している者で、世帯の前年分の所得合計額が市民税所得割非課税措置に準ずる所得額以下であり、受給することが適当であるとの学校長推薦が得られる者。

(4) 支給額

月額 4,000円（公・私立での支給額の区別はなし）

(5) 支給者及び支給総額

年度	平成 25 (2013)	平成 26 (2014)	平成 27 (2015)
支 給 人 員	860	829	759
支 給 総 額 (円)	39,372,000	37,864,000	34,172,000

学校給食

1 学校給食の実施状況

平成28年(2016年)5月1日現在

区分	学校数	児童数(人)	教職員等数(人)	実施数(人)
小学校	36	20,484	1,452	21,936

- (注) 1 パン又は米飯、ミルク、副食の完全給食
 2 米飯給食は週3回 平成28年度(2016年度)は116回実施予定
 3 給食形態は自校調理方式

中学校給食

- 平成21年(2009年)1月から3校で給食を開始し、その後年次的に実施校を増やし、平成24年(2012年)2月から全校で給食を実施
- 米飯、副食をランチボックスで、ミルクとともに各校へ配送
- 希望する日を選んで1か月ごとに申し込む選択制

2 学校給食職員数

- 保健給食室 10人(室長、参事含む)
- 栄養教職員(府費) 21人
- 給食調理員 75人

3 給食費

平成28年度(2016年度)

区分	給食回数	1食当たりの単価(円)	月額(円)	年間(円)
小学校	1年生 191	204	3,650	39,370
	2年生 196	204	3,650	40,150
	3・4年生 196	207	3,700	40,700
	5年生 196	210	3,750	41,250
	6年生 193	210	3,750	41,250

- (注) 1年生は、4月18日から実施、2～6年生は同11日から実施
 中学校給食は、1食300円

進学状況

1 中学校卒業者の進路

平成28年(2016年)5月1日現在(単位:人)

卒業者	進学した者	進学も就職もした者	就職した者	専修・各種学校	その他
3,124	3,095	0	7	8	14

2 高等学校進学状況（全日制）

平成28年(2016年)5月1日現在（単位：人）

区 分		入 学 者						計
		普通科	総合学科	商業科	農業科	工業科	その他	
大阪府	公立	1,287	156	7	6	72	292	1,820
	国立	2						2
	私立	947		2		16	59	1,024
他府県		119			1	1	12	133
計		2,355	156	9	7	89	363	2,979

特別支援

1 支援学級の設置校数及び在籍者数

平成28年(2016年)5月1日現在

障がいの種別	校種	設 置 校 数			在 籍 者 数 (人)		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
弱 視		3	1	4	5	2	7
知的障がい		64	21	85	365	112	477
肢体不自由		15	2	17	41	5	46
自閉症・情緒障がい		63	23	86	366	101	467
病 弱		23	8	31	55	17	72
難 聴		3	3	6	16	6	22
計		171	58	229	848	243	1,091

2 介助員制度

市内支援学級に在籍する児童・生徒の障がいの状況や学校の実態を総合的に考慮し、必要度の高い学校に介助員を配置

平成28年度(2016年度)は48人

3 通学対策

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に3台のリフト付ワゴン車をチャーター

4 機能訓練

高野台小学校（肢体不自由学級センター校）を対象に年35回の機能訓練士による訓練指導の実施

5 その他

- (1) 学校教育研究会支援教育部会行事への補助
- (2) 就学相談、助言等
- (3) 病・虚弱学級（市民病院・小児科病棟院内学級）片山小学校・片山中学校
- (4) 通級指導教室（発達障がい）吹田第二小学校・吹田第三小学校・山田第二小学校・高野台小学校・青山台小学校・豊津第一小学校・千里たけみ小学校・豊津中学校・竹見台中学校内

中学校対外部活動（全国・近畿大会）参加経費の助成

1 実施時期

- (1) 中学校対外運動競技（全国・近畿大会）参加経費の助成
昭和59年（1984年）7月1日から実施
- (2) 中学校対外文化活動コンクール（全国・近畿大会）参加経費の助成
平成2年（1990年）4月1日から実施

2 趣 旨

学校教育活動の一環として開催される国・地方公共団体若しくは学校教育団体の主催又はこれらと関係団体との共催による中学校の対外運動競技又は対外文化活動コンクールのうち、全国・近畿大会に参加する吹田市立中学校の生徒に対して、その経費の一部を助成する。

3 支給対象

大阪府の代表として大会に参加する吹田市立中学校に在籍する生徒で、当該校長の承認を受けた者。ただし、対外運動競技にあつては、団体競技に参加する場合は選手登録された者に限る。

4 支給額

区 分	開催地	金 額
全国大会	近畿圏外	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（1万円を上限とする）の合計額
	近畿圏内	1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額
近畿大会		1泊に要する宿泊料実費額の2分の1（3,000円を上限とする）に宿泊数を乗じた額及び往復の交通費の半額（2,000円を上限とする）の合計額 ただし、宿泊については教育委員会が必要と認めた場合に限る

(注)本表の交通費は、市旅費条例により算定した運賃及び旅費とする

学校保健

1 心臓検診

小・中学校1年生全員に一次検査（心電図及び問診票調査）を実施し、一次検査で異常があった者と他学年の学校医抽出者等に、二次検査（聴打診及び必要に応じて負荷心電図検査）を実施している。さらに必要のある者には、三次検査として国立循環器病研究センターにおいて精密検査を実施している。

(単位：人)

年度	区分	小 学 校			中 学 校		
		一次検査	二次検査	三次検査	一次検査	二次検査	三次検査
平成25(2013)		3,244	517	61	3,077	453	49
" 26(2014)		3,261	546	50	3,048	481	56
" 27(2015)		3,404	561	50	3,094	390	35

2 せき柱側わん症検診

小学校5年生及び中学校2年生の内科検診（受診票による抽出者）、他学年の抽出者及び前年度経過観察者等を対象に受診票、レントゲン直接撮影等により検診を実施し、せき柱側わん症の早期発見に努める。

(単位：人)

年度	区分 学校別	視 触 診	レントゲン	異常なし	経 過	要指導者	要精検査
		受 診 者	受 診 者		観 察 者		
平成 25 (2013)	小学校	101	20	11	2	7	0
	中学校	108	36	13	10	12	1
" 26 (2014)	小学校	94	30	17	8	5	0
	中学校	83	34	18	3	12	1
" 27 (2015)	小学校	112	36	25	4	6	1
	中学校	82	30	10	1	13	6

3 子供の生活習慣病予防検診

小学校5年生及び中学校2年生の調査票抽出者のうちの希望者並びに前年度の受診結果が要指導及び要経過観察の者のうちの希望者を実施している。

(単位：人)

年度	区分	小 学 校		中 学 校		合 計
		男 子	女 子	男 子	女 子	
平成25(2013)		165	105	59	52	381
" 26(2014)		112	78	37	43	270
" 27(2015)		91	66	35	31	223

教育センター

教育センターは、本市の学校教育の向上を図ることを目的として、従来の教育研究所を発展的に拡充した形で設置され、昭和62年(1987年)6月1日から事業を開始した。

1 事業の概要

- (1) 教育に関する専門的な調査・研究
- (2) 教職員の資質を高めるための研修
- (3) 「不登校、学習・発達、友人関係、いじめ、進路・就学、情緒・行動」等の教育相談
- (4) 教育情報の収集・発信

2 施設の概要

位 置	出口町2番1号(男女共同参画センターとの複合施設)		
敷地面積	1,426.93㎡	建築面積 799.00㎡	延べ床面積 2,847.67㎡ (うち教育センター面積 786.12㎡)
構造・規模	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階建		
主要施設	3階—事務・研究室、印刷室、検査室、収納室、相談室(2)、 プレイルーム(2)、言語指導室、小会議室、応接室 2階—視聴覚室、情報科学室		
工 費	228,581千円(総工事費 782,100千円のうち教育センター部分)		

3 事業の内容

- (1) 調査・研究
 - ア 研究グループによる調査・研究(所員・スーパーバイザー・研究員の共同研究)
原則月1回研究会を開き、それぞれの研究グループの成果を、研究報告書、教育研究報告会等で発表・報告する。
 - (ア) 発達理解研究グループ (イ) ICT活用研究グループ (ウ) 英語教育研究グループ
 - (エ) 道徳教育研究グループ (オ) 校内研修活性化研究グループ (カ) 不登校対応研究グループ
 - イ 研究所連盟による調査・研究(共同研究・研究会)
大阪府教育研究所連盟(共同研究部会、教育相談部会、研究発表大会等)
- (2) 教職員研修
 - ア 一般研修講座
 - (ア) キャリアステージにあった研修(初任者研修、フレッシュ研修、ステップアップ研修Ⅰ・Ⅱ、ヤングリーダー研修、10年経験者研修、学校パワーアップ研修)
 - (イ) スクールリーダー研修(首席・指導教諭・主幹・主査対象)
 - (ウ) 教育課題別研修(教育課程、教育相談、人権教育、理数教育、危機管理、校内授業研究、国語力向上、キャリア教育、グローバル教育等)
 - (エ) 幼稚園・小学校教育研修

- (オ) 教科・領域研修（英語教育研修、授業づくり研修等）
- (カ) 専門職等研修（事務職員、養護教諭、栄養教諭、学校図書館担当者対象）

イ 特別支援教育研修

- (ア) 通常の学級支援研修（発達障がいの理解、ユニバーサルデザインについて、特別支援教育コーディネータの役割、個別の指導計画の書き方(ワーク)等）

- (イ) 事例研修

ウ 情報教育研修

- (ア) 情報リテラシー (イ) 授業活用 (ウ) 課題・専門

エ 吹田市教育研究大会

今日的教育課題や吹田市の重点施策について講演会等を行う。

オ 教育研究報告会

研究成果の報告・発信

カ 研修実施回数、参加人数

平成25年度(2013年度)	196回	延べ 5,780人
〃 26年度(2014年度)	198回	延べ 5,765人
〃 27年度(2015年度)	180回	延べ 5,732人

キ 校内研修支援（中学校パッケージ研修支援）

(3) 教育相談

ア 来所相談

満3歳から18歳（高等学校在学年齢）までの教育上の諸問題について、月曜日から金曜日までと第3日曜日に開設している。時間は午前9時～午後5時（木曜日のみ午後9時まで）。

(単位：回)

来 所 相 談	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
相 談 回 数 合 計	3,551	3,240	3,497

イ 電話相談（いじめの悩み相談、スクール・セクシュアル・ハラスメント相談）

「いじめのなやみ相談ダイヤル」を開設し、幼児、小・中学生と保護者を対象に、専用電話で、いじめ問題の相談に応じている。月曜日から金曜日までと第3日曜日の午前9時～午後5時。

(単位：回)

電 話 相 談	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
相 談 回 数 合 計	224	173	221

ウ 不登校児童・生徒への支援活動

(ア) 家庭訪問活動（フレンドの派遣）

家に引きこもっている児童・生徒に対して、学生等のフレンドを派遣し、児童・生徒の話し相手や遊び相手になり、自立に向けた支援を行う。フレンドは週1回2時間程度の訪問を行い、子供と1対1の人間関係を深めることから出発し、集団の場である「光の森」や「学びの森」、学校等、外出に導く。

(イ)「学びの森」活動

登校は困難だが、外出可能な児童・生徒を対象に、個別対応を中心とした学習支援や活動を行い、学校復帰を目標に人間関係づくりを学ぶ。

(ウ)「光の森」活動

登校は困難だが、外出可能であり、集団活動に入れそうな児童・生徒を対象に、集団での学習や様々な体験活動を行い、学校復帰を目標に社会的自立を図っていく。

(単位：人)

年度 区分	平成25年(2013年)			平成26年(2014年)			平成27年(2015年)		
	光の森	学びの森	家庭訪問活動	学びの森	光の森	家庭訪問活動	光の森	学びの森	家庭訪問活動
小学生	0	1	0	0	0	0	0	1	0
中学生	13	11	13	12	14	0	15	19	1
小計	13	12	13	12	14	0	15	20	1
合計	28			26			36		

エ 学校出張教育相談

児童・生徒、保護者、教職員を対象とし、市内全18中学校にスクールカウンセラー(国・府派遣)を年間35回派遣するとともに、全小学校において、年間35回(1校)、年間30回(5校)、年間18回(26校)、年間25回(半日・1校)、年間35回(2校合わせて)の教育相談員の派遣を行い、幼稚園・小学校・中学校を含めた各中学校ブロックで学校教育相談を実施している。

(単位：回)

出張教育相談 (小学校)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
相談回数合計	2,847	2,494	3,340

(単位：回)

スクールカウンセラー (中学校)	平成25年度 (2013年度)	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)
相談回数合計	4,600	4,990	4,873

オ 進路選択支援相談

相談窓口の設置、相談員の配置を図り、全ての子供たちが家庭事情や経済的理由などにより、自己の進路を躊躇、断念することなく、積極的に進路を考え、将来に展望を持たせていくことを支援する。

(4) 特別支援教育の推進

家庭や学校と連携し、「LD、ADHD、ASD」等、発達障がいのある園児・児童・生徒のニーズに基づき、家庭での配慮、学校における必要な対応、教育プログラム、指導方法を研究しながら、教育支援システムを構築するとともに、実践的な支援活動を行う。

ア 巡回等による学校・園への支援及び学校・園との連携

- イ 園児・児童・生徒の特性及びニーズの把握
 - ウ 学校・園及び保護者への指導・助言及び啓発支援
 - エ 教職員の指導力養成
- (5) 学校教育情報通信ネットワーク
- 「教育の情報化」の下、次世代を担う児童・生徒のために、学校・家庭・地域をつなぎ、価値ある情報を分かち合い、学ぶ喜びを感じられる教育の機会を創設する。
- ア 情報活用能力育成及び交流学习支援
 - イ 学習コンテンツの蓄積・発信・活用支援
 - ウ セキュリティ・フィルタリング・情報モラル等運用・管理支援
- (6) 教育情報の収集・発信
- ア 教育資料の収集
 - イ センターだより・研究報告書・所報の発行
 - ウ 教育資料の充実・活用

生涯学習の推進

「吹田市生涯学習推進計画－生涯学習の都市づくりをめざして－」（平成7年度（1995年度）策定）を引き継ぐ「第2次吹田市生涯学習推進計画」に基づき平成18年度（2006年度）から施策を推進してきたが、さらなる生涯学習施策の推進を図るため「第3次生涯学習（楽習）推進計画」を平成28年（2016年）3月に策定した。

平成20年（2008年）10月には、「いつでも、どこでも、だれでも」生涯学習活動に取り組めるよう支援するとともに、学びを通じて様々な生涯学習活動の契機となり、人生をより豊かにするための教養を深める「学びの場」として「生涯学習吹田市民大学」を開設した。平成21年度（2009年度）からは、「生涯学習吹田市民大学」の特別講座を実施している。また、関西大学、千里金蘭大学、大阪学院大学との大学連携講座を実施している。

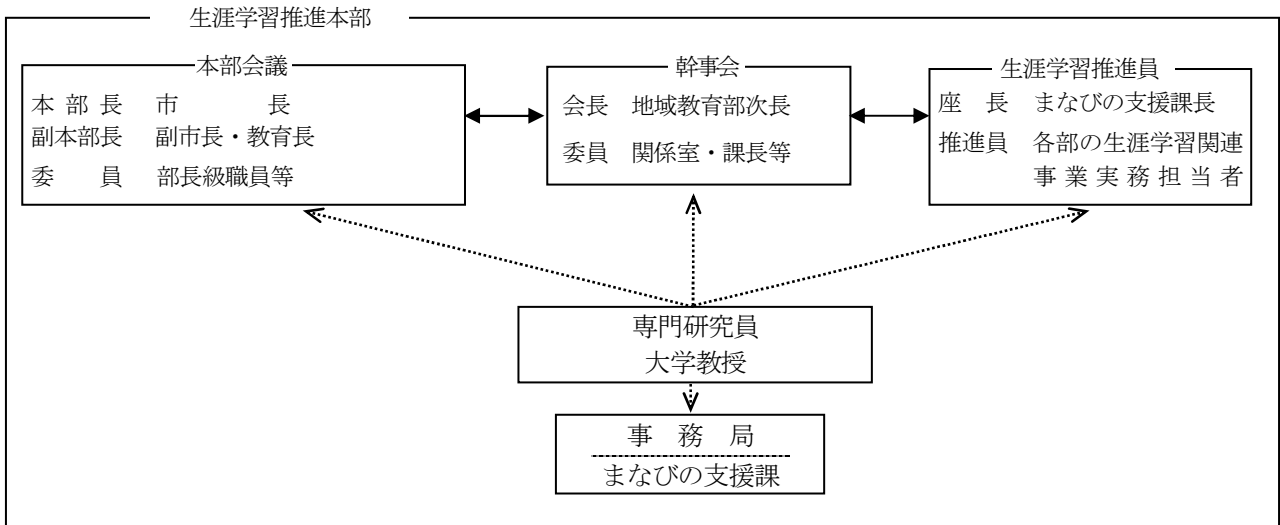
生涯学習施設情報を「ひろがれ」、講座情報を「学びの情報」、人材情報を「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報を「さ〜くるネット吹田」として生涯学習情報誌の発行を行なうとともに、インターネット上でも同一情報を提供し、生涯学習関連情報の提供の充実を図っている。

市民の皆さんの聞きたい、知りたいという学習意欲に応えるために、市の職員が担当している仕事やこれから取り組もうとしていることについて、出張して話をする吹田市生涯学習出前講座と、山手小学校の地域交流室の開放事業並びに、全ての小学校の多目的教室等を地域の団体に身近な学びや活動の場として開放する小・中学校教室開放事業を実施し、市民の生涯学習の支援を行っている。

1 生涯学習推進体制の整備

生涯学習推進 本部の設置	設置年月日	平成5年(1993年)5月14日
	総括者	本部長：市長 副本部長：副市長、教育長
	構成	本部会議：本部長、副本部長、部長級職員等 幹事会：関係室・課長等 推進員：各部の生涯学習関連事業実務担当者
生涯学習推進 専門研究員	生涯学習推進本部の所掌事務に関する専門的事項について指導助言を得る。	

<推進体制図>



2 生涯学習吹田市民大学

特別講座

社会情勢や現代的課題を学ぶ場として、地域の学びの場である地区公民館において実施している。

平成27年度(2015年度)

開催コース名	開催日	延べ受講人数
これからの人生、笑いと食で人生リフレッシュ ～健康・医療のまちづくり～	6月1日～6月15日 (山二地区公民館) 9月7日～10月5日 (北山田地区公民館) 12月3日～2月4日 (片山地区公民館)	264人

大学連携講座

● 関西大学講座

生涯学習吹田市民大学関西大学講座は、一般成人を対象として、現代社会を多面的に分析し、文化教養を深めることを目的に、関西大学との共催で昭和47年（1972年）から実施している。

平成27年度（2015年度）

コース別 テーマ名			開催日	延べ受講人数
前期	1 教 育	排除／包摂する教育	6月11日～7月2日	258人
	2 社 会	より良い社会をデザインする！	6月11日～7月2日	500人
後期	健康まちづくり ー続けられるまちの仕掛けを考えるー		12月10日	65人
計				823人

● 千里金蘭大学キャンパス講座

生涯学習吹田市民大学千里金蘭大学キャンパス講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に千里金蘭大学との共催で平成19年（2007年）から実施している。

平成27年度（2015年度）

テーマ名	開催日	延べ受講人数
古今東西の名言・名文句	11月10日～12月8日	482人

● 大阪学院大学講座

生涯学習吹田市民大学大阪学院大学講座は、一般成人を対象として、文化教養を深めることを目的に大阪学院大学との共催で平成22年（2010年）から実施している。

平成27年度（2015年度）

テーマ名	開催日	延べ受講人数
ヨーロッパを基軸にして見た歴史	2月20日～3月12日	465人

3 情報提供誌等の発行

平成27年度（2015年度）

学びの情報	発行月	4月・8月・12月
	配布施設	市の公共施設
	内 容	生涯学習吹田市民大学講座や各所管講座、市内大学の公開講座の情報
ひろがれ (学習施設ガイド)	発行月	4月
	配布先	吹田市への転入者など
	内 容	市内の生涯学習関連施設約 270 施設を掲載

4 インターネットを使った学習情報提供

「ひとの宝箱」、「吹田市生涯学習出前講座メニュー」、「さーくるネット吹田」、「ひろがれ」「学びの情報」、「もよおしいろいろ」の情報を、吹田市ホームページで提供している。

また、各種登録書や申込書、申請書を吹田市ホームページからダウンロードできるようにし、市民の利便性の向上に努めている。

5 生涯学習出前講座

平成27年度（2015年度）の実施件数 59件

6 山手地域交流室の開放

平成27年度（2015年度）の利用人数 6,422人

7 小・中学校教室開放事業

平成27年度（2015年度）の利用状況 100件

8 生涯学習講座

幼児から高齢者まで幅広い市民の方を対象として、学習者が集合して学習を行う学級・教室などを実施した。

平成27年度（2015年度）

事業名	開催日	内 容	対 象	延べ参加者数
子育て教室	9月10日 ～ 10月8日	子育ての基礎知識の習得と育児不安の解消	はじめて親になる人 ・なった人	81人
おやこであそぼ	6月15日 ～ 7月13日	親と子のスキンシップを深めるために	2歳～就学前の幼児 とその親	106人
家庭教育学級	5月1日 ～ 3月31日	家庭教育の大切さを知るために	児童を持つ親	4,914人
聴言障がい者 教養講座	6月25日 ～ 3月12日	生活の向上に必要な知識を得るために	聴言障がい者	160人
視覚障がい者 活動講座	4月17日 ～ 2月19日	生活の向上に必要な知識を得るために	視覚障がい者	87人
三島地区生涯学習 連携事業	1月29日 ～ 2月26日	地域を再発見してもらうために ※高槻市、茨木市、摂津市、島本町との 共催	一 般	352人

9 夢と希望を広げる出会い事業

児童・生徒等が、吹田市にゆかりがある、様々な分野で活躍する方々と出会う場を設け、講演や実技指導を通じて、夢や目標を持って努力することの大切さを学び、将来の生き方を考える機会を提供した。

平成27年度（2015年度）

	実施日	実施場所	参加者 (人)	講 師	講師肩書
1	平成27年(2015年) 5月31日(日)	山田第一小学校	30	大 谷 佐知子	吹田市教育委員・ロサンゼルスオリンピック日本代表 銅メダリスト
2	〃 6月25日(木)	千里丘北小学校	164	関 友 菜	第32回世界バトントワーリング選手権大会フリースタイル個人シニア3位
3	〃 11月22日(日)	南千里中学校	250	堀 江 翔 太	ラグビー日本代表 パナソニックワイルドナイツ主将
4	〃 11月26日(木)	吹三小学校	100	渡 邊 有 希	第98・99回日本陸上競技選手権大会女子走り高跳び優勝
5	平成28年(2016年) 1月19日(火)	千里たけみ小学校	122	和 田 光 代	平成5年(1993年) パリマラソン優勝
6	〃 2月18日(木)	古江台中学校	268	バイマーヤンジン	チベット出身・声楽家
		合 計	934		

公 民 館

1 公民館利用状況

公民館の使用料は原則として無料とし、住民の学習並びに交流の場としている。

(人口は各年度3月31日現在)

年 度	人 口 a (人)	延 べ 利用状況 b (件)	延 べ 利用者数 c (人)	利 用 率 c/a×100(%)	講 座 参加者数 d (人)	受 講 率 d/c×100(%)
平成25(2013)	360,007	31,299	398,759	110.8	49,841	12.5
〃 26(2014)	362,899	31,184	384,175	105.9	50,622	13.2
〃 27(2015)	367,510	31,570	420,269	114.4	49,493	11.8

2 施設の概要

(平成28年(2016年)4月1日現在)

公 民 館 名	所 在 地	供 用 開 始	延べ床 面積 (㎡)	構 造 ・ 規 模
吹一地区公民館	内本町3-19-21	昭和36(1961).12.13	185	R.C 2階建
吹一地区公民館さんくす分館	朝日町3-505	平成16(2004).5.1	96	R.C 5階建5階部分の一部
山二地区公民館	千里丘下23-19	昭和36(1961).12.13	412	R.C 2階建
吹三地区公民館	高城町19-7	〃 38(1963).9.1	272	〃
岸一地区公民館	岸部中3-20-1	〃 39(1964).5.1	412	〃
千一地区公民館	原町2-12-2	〃 40(1965).5.1	472	R.C 3階建1・2階部分
山一地区公民館	山田東2-33-1	〃 42(1967).6.1	399	R.C 2階建
山手地区公民館	山手町1-8-15	〃 43(1968).4.1	205	〃
南吹田地区公民館	南吹田5-8-24	〃 43(1968).9.1	220	〃
吹二地区公民館	泉町3-15-29	〃 44(1969).2.1	424	〃
豊一地区公民館	垂水町3-15-35	〃 46(1971).4.1	585	R.C 4階建
千二地区公民館	千里山東2-19-23	〃 47(1972).11.1	400	R.C 2階建2階部分
吹田東地区公民館	吹東町3-6	〃 49(1974).12.25	332	R.C 3階建
山三地区公民館	山田西1-26-2	〃 53(1978).2.1	338	R.C 2階建
南千里地区公民館	津雲台1-2-1	〃 54(1979).2.1	1,028	R.C 8階建7階部分
千三地区公民館	千里山西1-12-1	〃 54(1979).5.1	352	R.C 2階建
岸二地区公民館	岸部北4-15-20	〃 55(1980).5.1	346	〃
南山田地区公民館	山田市場18-6	〃 55(1980).5.1	362	〃
北千里地区公民館	古江台4-2-D7	〃 56(1981).3.1	744	〃
豊二地区公民館	豊津町47-1	〃 56(1981).5.1	341	〃
吹六地区公民館	南清和園町40-1	〃 56(1981).5.1	350	R.C 3階建
西山田地区公民館	山田西2-5-1	〃 57(1982).5.1	341	R.C 3階建2階部分
東山田地区公民館	新芦屋上32-1	〃 58(1983).5.1	362	R.C 2階建
片山地区公民館	朝日が丘町15-1	〃 59(1984).5.1	380	R.C 3階建2階の一部及び3階部分
江坂大池地区公民館	江坂町3-63-6	〃 60(1985).5.1	360	R.C 2階建
東佐井寺地区公民館	五月が丘西5-1	〃 61(1986).5.1	380	〃
北山田公民館	山田東4-43-20	〃 61(1986).5.1	361	〃
佐井寺地区公民館	佐井寺南が丘1-1	〃 62(1987).5.1	359	〃
千里新田地区公民館	千里山西6-30-41	〃 62(1987).5.1	360	〃
山五地区公民館	山田南45-13	平成元(1989).5.1	362	〃

3 地区公民館の事業

(1) 地区公民館文化祭

日頃の公民館活動の成果を発表する場として、また、地域文化の向上を期して、地区の特色をい
かしながら、全29館で文化の日を中心に実施した。

内 容

・作品展示……写真、絵画、書道、木彫、七宝焼、押し絵、ちぎり絵、アートフラワー、編物、
洋裁、和裁、生け花、盆栽、陶芸、その他

・演芸発表……詩吟、民謡、コーラス、カラオケ、歌体操、大正琴、その他

平成27年度(2015年度)実績

来館者数 延べ4万403人

(2) 地区公民館主催講座

講習会や講演会を始め、社会見学や軽スポーツなど地域住民の求めにこたえた講座を実施した。

平成27年度(2015年度)実績

講座開催回数 延べ1,853回 受講者数 延べ4万9,493人

(3) グループ活動

住民の自主的な文化・学習のグループ活動が各館で活発に行われた。(書道、絵画、詩吟、琴、ジャ
ズダンス、ヨーガ、洋裁、和裁、レザークラフト、刺しゅう、その他)

図 書 館

平成27年度(2015年度)の市民一人当たりの図書費は168円、蔵書数は2.79冊、貸出数は図書8.79
冊、視聴覚資料を含んだ貸出点数は9.51点である。

1 蔵書及び利用状況

(1) 図書資料(団体貸出 4万8,520冊を除く)

平成27年度(2015年度)

館別	種別	蔵書数(冊)			貸出数(冊)			開館(室) 日数
		一般書	児童書	計	一般書	児童書	計	
中 央		194,562	59,099	253,661	177,312	140,368	317,680	334
千 里		59,523	27,731	87,254	301,378	182,802	484,180	334
さ ん く す		54,105	24,595	78,700	210,038	93,999	304,037	334
江 坂		36,007	16,747	52,754	214,695	124,313	339,008	326
千里山・佐井寺		223,015	52,258	275,273	247,649	204,531	452,180	334
千 里 丘		45,952	20,605	66,557	256,080	193,571	449,651	334
山 田 駅 前		62,617	21,491	84,108	264,676	138,119	402,795	334
北 千 里		22,463	13,398	35,861	128,634	63,819	192,453	334
山 田		39,637	17,105	56,742	149,458	95,041	244,499	334
自動車文庫		13,068	20,582	33,650	23,009	19,317	42,326	189 (運行日数)
合 計		750,949	273,611	1,024,560	1,972,929	1,255,880	3,228,809	

(注) 1 図書館では1人につき15冊まで2週間を限度に貸出しを行っている。

- 2 登録者数は11万9,287人。
- 3 貸出冊数には紙芝居・雑誌を含む。
- 4 貸出冊数は個人貸出のみとする。

(2) 視聴覚資料

(単位：点)

館別	蔵書数					貸出数				
	ビデオ	DVD	CD	カセット	LD	ビデオ	DVD	CD	カセット	LD
千里	1	2,236	5,432	0	0	288	22,207	31,658	32	0
さんくす	3,015	1,105	16,104	2,027	110	1,625	11,879	30,266	786	0
江坂	1,037	865	8,355	0	0	511	11,197	24,007	17	0
千里山・佐井寺	1,706	1,215	7,916	1	0	1,080	13,126	24,158	14	0
千里丘	0	1,161	4,190	0	0	64	10,286	23,381	105	0
山田駅前	0	2,560	5,666	0	0	102	17,938	21,350	16	0
上記以外の館	6	42	15	6	0	222	5,899	13,620	136	0
合計	5,765	9,184	47,678	2,034	110	3,892	92,532	168,440	1,106	0

2 中央図書館

位置	出口町18-9	工費	390,744千円
敷地面積	4,814.6 m ²	財源内訳	国庫補助金 15,000千円
建築面積	857.0 m ²		府補助金 15,000千円
延べ床面積	3,392.3 m ²		地方債 246,000千円
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上4階建		一般財源 114,744千円
開館年月日	昭和46年(1971年)11月25日	特長	吹田市立図書館の中心館として、サービス、資料の充実を図る。特に吹田市の地域資料の収集と保存に努めている。自習室(176席)を設置している。

3 分館・分室

(1) 千里図書館

位置	津雲台1-2-1	工費	} PFI方式による。
敷地面積	2,900.66 m ²		
建築面積	2,440.2 m ²	財源内訳	
延べ床面積	図書館部分は 930.94 m ²		
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上8階塔屋1階、地下2階建(千里ニュータウンプラザ)の3階部分	特長	千里ニュータウン地区にある図書館として、乳幼児から高齢者まで暮らしに役立つ図書館を目指している。健康・医療に関する資料の収集・提供や、多文化サービスを行っている。
開館年月日	平成24年(2012年)9月3日以前は市民センタービル内で昭和53年(1978年)4月1日に開館		

(2) さんくす図書館

位 置	朝日町3-501	特 長	滞在型図書館を目指している。視聴覚資料を初めて導入した館であり、CD所蔵点数が最も多い。かつての鉄道の町にちなむ鉄道コーナーや若い世代向け就職支援のハロージョブ・コーナーを持つ。
延べ床面積	883 m ²		
開館年月日	平成5年(1993年)7月1日		
工 費	61,800千円		
財源内訳	全額一般財源		

(3) 江坂図書館

位 置	江坂町1-19-1	工 費	265,194千円
敷地面積	23,258.0 m ² (江坂公園駐車場、江坂公園自転車駐車場、江坂花とみどりの情報センター、江坂市民サービスコーナーとの複合施設)	財源内訳	全額一般財源
建築面積	385.38 m ²	特 長	ビジネス街に隣接しながら、マンションなど住宅に囲まれた公園にある。暮らしや仕事に役立つ情報発信や、文化イベントの実施を目指している。
延べ床面積	図書館部分は 511.57 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下2階塔屋1階建の地下1階部分		
開館年月日	平成8年(1996年)4月1日		
江坂分室として、昭和58年(1983年)4月17日に開室			

(4) 千里山・佐井寺図書館 (愛称:ちさと)

位 置	千里山松が丘25-2	総事業費	1,760,804千円(平成12年度(2000年度)~15年度(2003年度)) うち、建設事業費用等1,437,861千円
敷地面積	2,627.22 m ²		
建築面積	1,353.10 m ²	財源内訳	府補助金 51,500千円 地方債 941,000千円 その他 35,865千円 一般財源 732,439千円
延べ床面積	3,327.58 m ² 東館 2,312.38 m ² 西館 833.09 m ²		
構造・規模	東館 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地上3階建 西館 木造地上2階建	特 長	小学校の木造校舎を再現した西館と集密書庫(19万冊収容)を備えた東館からなる。障がい者サービスの拠点施設。録音室・点字室・視覚障がい者用対面朗読室を備えており、多くのボランティアが活動している。「録音」の貸出サービスを行っている。
工 期	平成14年(2002年)9月26日~平成15年(2003年)12月26日		
開館年月日	平成16年(2004年)5月19日		

(5) 千里丘図書館

位 置	千里丘上14-33	工 費	298,015 千円 (平成22年度(2010年度) ~24年度(2012年度))
敷地面積	721.91 m ²	財源内訳	地方債 200,300 千円 一般財源 97,255 千円 その他 460 千円
建築面積	432.33 m ²		
延べ床面積	840.37 m ²	特 長	「やさしい」をコンセプトに、環境、子育て、障がい者や高齢者にやさしい、生活に寄り添った図書館を目指している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上2階建		
開館年月日	平成25年(2013年)1月9日		

(6) 山田駅前図書館

位 置	山田西4-2-43	工 費	548,699 千円
敷地面積	2,348.32 m ² (青少年活動サポートプラザ、のびのび子育てプラザとの複合施設)	財源内訳	地方債 168,400 千円 一般財源 380,299 千円
建築面積	1,319.50 m ²		
延べ床面積	図書館部分は 1,232.79 m ²	特 長	夢つながり未来館内の他施設と連携しながら地域貢献のできる図書館を目指している。子育てに関する資料や中・高校生向けの資料を多く所蔵している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地下2階地上7階建の地下1階・2階部分		
開館年月日	平成23年(2011年)3月27日		

(7) 千里図書館 北千里分室

位 置	古江台4-2 D7	工 費	千里ニュータウン完成記念事業の一環として大阪府が建設し、吹田市へ移管
敷地面積	786.9 m ² (北千里地区公民館との複合施設)		
建築面積	464.4 m ²	財源内訳	府 費
延べ床面積	図書館部分は 155 m ²	特 長	地域密着型の図書室。小規模であるが、北千里駅前という地の利があり、身近で立ち寄りやすい市民の本棚を目指している。
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上2階建の1階部分		
開室年月日	昭和56年(1981年)4月1日		

(8) 山田駅前図書館 山田分室

位 置	山田西2-5-1	工 費	99,540 千円
敷地面積	810.0 m ² (山田出張所、西山田地区公民館との複合施設)	財 源 内 訳	全額一般財源
建築面積	452.9 m ²	特 長	20年以上地域で親しまれてきた図書室。身近で立ち寄りやすい地域密着型の図書室を目指している。西山田地区公民館の上階にあり、「本のひろば」を共同開催している。
延べ床面積	図書館部分は 379.82 m ²		
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上3階建の3階部分		
開館年月日	昭和62年(1987年)4月1日		

4 自動車文庫

- (1) 昭和44年(1969年)9月、本館から1.5km以遠を対象に積載2,200冊の車1台で開始した。
- (2) // 48年(1973年)9月、1台増車して2台とし、巡回地点を62か所とした。
- (3) // 53年(1978年)4月、千里図書館の開館により巡回地点を48か所とした。
- (4) // 58年(1983年)4月、江坂分室の開室により巡回地点を40か所とした。
- (5) // 62年(1987年)4月、山田図書館の開館により巡回地点を34か所とした。
- (6) 平成3年(1991年)5月、巡回地点を36か所とした。
- (7) // 5年(1993年)7月、さんくす図書館の開館により巡回地点を35か所とした。
- (8) // 6年(1994年)9月、図書館が整備され巡回地点を30か所にしたことにより1台減車した。
- (9) // 10年(1998年)4月、巡回地点を31か所とした。
- (10) // 15年(2003年)1月、巡回地点を32か所とした。
- (11) // 16年(2004年)5月、巡回地点を31か所とした。
- (12) // 16年(2004年)6月、千里山・佐井寺図書館の開館により巡回地点を27か所とした。
- (13) // 16年(2004年)9月、巡回地点を30か所とした。
- (14) // 18年(2006年)9月、排ガス規制により車輛を更新。キャラクターを“ごりまる”に変更した。
- (15) // 19年(2007年)12月、巡回地点を31か所とした。
- (16) // 23年(2011年)4月、山田駅前図書館の開館により巡回地点を29か所としたが、5月に2か所増やし31か所とした。
- (17) // 23年(2011年)11月、巡回地点を30か所とした。
- (18) // 25年(2013年)1月、千里丘図書館の開館により、巡回地点を24か所とした。
- (19) // 27年(2015年)4月、巡回地点を27か所とした。

5 主な行事

市民に親しみやすい図書館を目指して、平成27年度(2015年度)では次の行事等を行った。

子どもと本の講座、子どもと本のまつり、おはなし会、夏休み文庫等特設コーナーの設置、夏のおたのしみ会、秋のおたのしみ会、冬のおたのしみ会、春のおたのしみ会、図書館講座じゅずつなぎ、ビブリオバトル(知的書評合戦)

文化財保護課

1 博物館

地域の文化財を調査・研究して、収蔵・保管し、地域の歴史の中に取り入れて公開・展示を行う。

(1) 施設概要

位 置	岸部北4丁目10番1号
敷地面積	9,007.04m ² 建築面積 2,189.7m ² 延べ床面積 3,297.9m ²
構造・規模	鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造3階建塔屋1階
総事業費	3,489,094千円
開 館	平成4年(1992年)11月15日
主な施設内容	1階 荷解室、燻蒸室 2階 講座室、一般収蔵庫、特別収蔵庫(1・2)、資料整理室、研究室、 写場・暗室・録音室、保存処理室、資料保管室、和室鑑定室 3階 第1展示室、第2展示室、特別展示室、図書・ビデオコーナー

2 博物館事業

(1) 特別展 (春季)

名 称	平成27年度(2015年度)春季展示 『生誕100年 西村公朝展 一ほとけの姿を求めて』
開 催 期 間	平成27年(2015年)4月25日～6月7日
展 示 の 主 題	仏像修理、制作、仏教伝道に多大なる業績を残した西村公朝の生誕100年を機会に西村の多様な業績の源である「仏像修理技術者」としての活動に焦点を当て、関連資料や修理に携わった仏像を展覧するとともに、晩年に制作された《十大弟子像》など代表作品をあわせて展示することで、「仏師」としての姿も紹介した。
資料収集範囲	吹田市 京都市 奈良県 静岡県
収 集 件 数	4件
資料出陳点数	54点

関連イベント

プレイベント、開会式、講演会、ギャラリートーク、ワークショップ、演奏会、見学会など
全21回 総参加者数 計1,511名

(2) 企画展

名 称	平成27年度(2015年度)企画展 『さわって楽しむはくぶつかん in すいた』
開 催 期 間	平成27年(2015年)6月13日～7月5日
展 示 の 主 題	仏像修理技術者・仏像彫刻家であった西村公朝氏が制作した「ふれ愛観音像」や、公朝の提案によって制作された仏像レプリカ、ユニバーサル・ミュージアム研究会のメンバーによる研究や実践の成果、また障がい者のための活動を続けてきた個人・団体から提供いただいた物などを展示し、自らが能動的に関わっていかうとする探求のプロセスによって、来館者一人一人が学びを深め、皮膚感覚・聴覚・嗅覚など、さまざまな感覚を使って感性を磨くことができるような博物館体験を提供した。
資料収集範囲	吹田市 大阪府 京都府 滋賀県 神奈川県 東京都 青森県
収 集 件 数	47件
資料出陳点数	63点

関連イベント

開会式、展示解説、見学会、自然観察会、体験イベントなど
全17回 総参加者数 計1,499名

(3) 夏季展示

名 称	平成27年度(2015年度)夏季展示 『まもる自然・つくる環境—こんなのみつけたよ—』
開催期間	平成27年(2015年)7月18日～8月23日
展示の主題	自然は守る努力をするとともに、どのように緑や生物を残して環境をつくっていくかという工夫も必要である。現在市域に残る自然を次世代にいかにより継承し、将来の環境をどのように構築していくのか、大人だけではなく、子供たちも含めて、自然や環境問題を考える機会とした。
資料収集範囲	吹田市 大阪市
収集件数	6件
資料出陳点数	73点

関連イベント

開会式、講演会、展示解説、体験イベント、工作、コンサート、見学会、絵本読み聞かせなど
全37回 総参加者数 計1,659名

(4) 博物館実習展

名 称	平成27年度(2015年度)博物館実習展 『大学生による館藏品展 — 歴史・美術・考古・民俗資料がいっぱい —』
開催期間	平成27年(2015年)9月6日～9月23日
展示の主題	博物館学芸員資格取得過程である博物館実習受講生に通常、常設展示では公開されていない、収蔵庫に保管されている民俗資料、考古資料、歴史資料の各分野の資料を用い、大学生の独自の視点で資料展示を行った。
資料収集範囲	吹田市
収集件数	1件
資料出陳点数	112点

関連イベント

展示解説

全4回 総参加者数 計396名

(5) 特別展(秋季)

名 称	平成27年度(2015年度)秋季特別展 『絵図っておもしろい — 国絵図と村絵図 —』
開催期間	平成27年(2015年)10月3日～11月29日
展示の主題	江戸時代に発展を遂げた日本図や、幕府に提出された摂津国絵図の写し、地域の田島開発絵図や川絵図などを含む村絵図、木版刷りで刊行された寺社参詣図等、近代の絵図・地図を展示し、吹田の人々が生きた空間、生活した景観を知ることができる絵図の世界を紹介した。
資料収集範囲	吹田市 大阪市 兵庫県
収集件数	11件
資料出陳点数	66点

関連イベント

プレイベント、開会式、講演会、見学会、ギャラリートーク、クイズラリー、コンサート、体験講座など

全14回 総参加者数 計752名

(6) 講演会

1回 聴講者数 計108名

(7) 歴史講座(本館学芸員・技師による歴史・郷土史講座)

6回 聴講者数 計297名

(8) その他の講座・研修事業

- 親子体験講座 1回 参加者数 21名
古文書を読む会 11回 参加者数 計261名
シンポジウム 1回 参加者数 63名
魅力再発見 西国街道（歴史街道推進協議会との連携）吹田郷土史研究会との共催
3回 参加者数 計266名
北大阪ミュージアムネットワーク事業
北大阪ミュージアムメッセ・シンポジウム 全2回 参加者数 3,618名
バックヤードツアー 1回 参加者数 23名
大学博物館館園実習 11日間 受講生 延べ148名
発展途上国博物館担当官への博物館技術研修 5日間 受講生 延べ22名
学芸員インターシップ 5日間 受講者数 延べ5名
小中学校教諭対象 バスで巡る吹田の歴史探訪 参加者数 13名
小中学校校長会研修会 1回 42名
山田中学校 社会教諭との博物館利用に関する研究会 2回

(9) 学校教育との連携事業

特別企画『むかしのくらしと学校』開催 見学学校数 27校

開催期間	平成27年(2015年)12月8日～平成28年(2016年)4月3日
展示の主題	小学校3年生の「くらしのうつりかわり」をテーマとして、数十年前の暮らしを、衣・食・住の資料から再現し、先人の生活の知恵と工夫を学ぶとともに、学校の教材・教科書・給食材・遊具などにより、昔の学校生活と遊びの様子を学習した。

- 出前授業 8校 受講者数 計732名
関連事業 体験イベント6回 参加者数 計337名
特別企画説明会及び懇談会 1回 参加者数 30名
職場体験学習 市内中学校 11校 参加者数 延べ69名
吹田高校 高校連携事業 地域社会研究講義 5回 聴講者数 計70名

(10) 出張展示

- 「岸部の歴史とむかしのくらし」(会場 青少年クリエイティブセンター)
「ラコルタかえっこバザール」(会場 市民公益活動センター)

(11) 常設展示事業

ア 第1展示室

展示の主題	吹田の原始・古代から近代・現代までのあゆみを、時代を追って展示・解説した通史展示室
展示の資料	市内を中心とした考古資料・古文書・民俗資料・美術工芸資料など約650点・移築資料2点
その他の資料	パネル43点・模型12点・レプリカ11点・ビデオガイド4台

イ 第2展示室

展示の主題	千里丘陵の良質な粘土を素材として、大規模に展開した古代の須恵器生産や瓦の生産を学習するテーマ展示室
展示の資料	古墳時代須恵器・古代宮殿用瓦・近世～近代瓦の生産資料など約150点・移築遺構(窯跡)1点・パネル掲示板5点・体験コーナー「宮殿の瓦を葺こう」
その他の資料	パネル17点・模型5点・レプリカ3点・ビデオガイド4台

ウ その他の展示 (ロビー展示)

展示の名称	古代飾り馬
開催期間	常設 (特別展開催期間を除く)
展示の主題	市内新芦屋古墳出土古代馬具を復元し、古代馬体荷装着して飾り馬を再現した。
展示の資料	復元馬具一式・古代馬(天然記念物御崎馬の複製)・黒御影石台座付き

展示の名称	アサヒビール木製貯酒樽
開催期間	常設
展示の主題	明治25年に操業開始した大阪麦酒吹田村醸造所(現アサヒビール吹田工場) で使われていた熟成用貯酒樽を関連写真や煉瓦と展示。
展示の資料	木製貯酒樽・醸造棟使用煉瓦1点・写真3点

展示の名称	山田銅鐸復原
開催期間	常設
展示の主題	山田出土銅鐸を正確に模した鋳型を造り、弥生時代の合金成分比に合致した青銅によって、銅鐸を忠実に再現した。内部は舌(ぜつ)があり、振り動かすと2000年前の音色を聞くことができる。
展示の資料	復原銅鐸1点・黒御影石製台座付き

展示の名称	日本万国博覧会会場模型
開催期間	常設
展示の主題	昭和45年(1970年)に千里丘陵で開催された史上最高の入場者を集めた万国博覧会の2,000分の1の会場模型

展示の名称	千里ニュータウンの集合住宅流し台
開催期間	常設
展示の主題	1960年代の公団住宅に採用されたステンレス流し台の標準タイプである「公共住宅流し台(KJ流し台)」。千里ニュータウンの集合住宅のほとんどで導入された。

展示の名称	応接室ギャラリー
開催期間	常設
展示の主題	西村公朝作彫刻 3点 村居正之作絵画 2点

(12) 資料収集

分野	寄贈	寄託	購入
歴史資料	1件 (1点)	2件 (23点)	2件 (20点)
民俗資料	2件 (4点)	0件 (0点)	0件 (0点)
美術資料	0件 (0点)	2件 (7点)	0件 (0点)
考古資料	0件 (0点)	0件 (0点)	0件 (0点)

(13) 資料調査など

分野	内 容
特別展など 展示関連調査	吹田市域絵図資料、千里山住宅、昭和時代の家電製品に関する調査、五反島遺跡出土須恵器大甕調査・同出土瓦調査、西村公朝作品・修復文化財及び修理記録、大坂画壇関係資料、ユニバーサル・ミュージアムの歴史、博物館資料を触ることによる学習効果
その他の調査	浄土真宗寺院の講行事、岸部の開発史、京屋製唐箕、公儀御掟御触其外色々、戦時下の吹田、博物館登録制度・国際化・運営・実習、地域回想法に関する調査
資料整理	館蔵考古資料・民俗資料・近世・近代資料の整理・登録

(14) 資料保存処理

名 称	回数	内 容	効 果
収 蔵 庫 燻 蒸	1回	収蔵庫全体の密閉燻蒸処理	収蔵庫資料の殺菌・殺虫
密 閉 燻 蒸	2回	燻蒸室での密閉燻蒸処理	新規収集資料の殺菌・殺虫・殺卵処理

(15) 刊行物

名 称	版・頁・部数	刊 行 日
博物館だより No. 62	A 4・8頁3,000部	平成27年(2015年)7月10日
博物館だより No. 63	A 4・8頁3,000部	〃 9月4日
秋季特別展絵図っておもしろい—国絵図と村絵図—展図録	A 4・34頁1,000部	〃 10月3日
博物館だより No. 64	A 4・8頁3,000部	〃 12月15日
博物館だより No. 65	A 4・8頁2,500部	平成28年(2016年)3月31日
吹田市立博物館 館報第16号	A 4・70頁 800部	〃
春季特別展 “田園都市” 千里山 —大正時代の理想郷—展図録	A 4・36頁1,200部	〃
中学校歴史教材 吹田の歴史に触れてみよう (山田中学校版)	A 4・8頁2,000部	〃

(16) ボランティア活動

名 称	内 容	日 数	参加人数
博 物 館 ボ ラ ン テ ィ ア	夏季展示の企画・運営、企画展の展示解説、特別企画の企画・造作、指導解説、その他博物館主催事業の補助	157日	延べ1,110名
喫 茶 ミ リ カ	入館者への喫茶サービス	20日	延べ82名

(17) 平成27年度(2015年度)利用状況

来館者数

(開館日数 292日) (単位：人)

観 覧 者	一 般	高齢者	高校・大学生	小・中学生	その他	合 計
	4,109	1,139	236	174	8,775	14,433
講 座 等 受 講 者						19,579
合 計						34,012

3 文化財保護業務

埋蔵文化財包蔵地における土木工事に係る発掘調査等の文化財保護業務を行う。

(1) 指定文化財及び登録文化財

アー1 文化財保護法で指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
史跡	昭和46年6月23日 (1971年)	吉志部瓦窯跡	1群	岸部北4丁目	吹田市 吉志部神社	平安初期 瓦窯跡群
〃	昭和55年3月24日 (1980年)	七尾瓦窯跡	1群	岸部北5丁目	吹田市 個人	奈良時代 瓦窯跡群
重要 文化財	昭和36年2月17日 (1961年)	石枕	1個	山手町3丁目	関西大学 文学部	天理市 柳本町出土 (蛇紋岩製)
〃	昭和39年5月26日 (1964年)	河内国府遺跡出土 品 石製玦状耳飾 ほか	21個	山手町3丁目	関西大学 文学部	藤井寺市 国府出土
〃	平成21年12月8日 (2009年)	旧西尾家住宅 主屋ほか	7棟	内本町2丁目	国 (管理団体) 吹田市	近代大型 和風建築
重要無形 文化財	平成26年10月23日 (2014年)	能囃子方太鼓		高浜町	三島元太郎	
重要有形 民俗文化財	昭和30年2月3日 (1955年)	おしらさま コレクション	33体	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	
〃	昭和30年2月3日 (1955年)	背負運搬具 コレクション	62点	千里万博公園 10番1号	国(国立民族学 博物館保管)	

アー2 文化財保護法で登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
登録有形 文化財	平成14年2月14日 (2002年)	千里寺本堂	1棟	千里山西1丁目	千里寺	昭和初期の大 嘗祭建物(饗 宴場)の一部
〃	平成14年6月25日 (2002年)	大光寺太子館	1棟	岸部中5丁目	大光寺	昭和初期の和 洋折衷の仏堂
〃	平成15年7月1日 (2003年)	中西家住宅 主屋 ほか	7棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	江戸後期・明 治の大型民家 建築

種別	登録年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
登録有形 文化財	平成16年6月9日 (2004年)	榎原家住宅 主屋 ほか	6棟	豊津町	個人	江戸末期・明 治の大型民家 建築
〃	平成18年10月18日 (2006年)	岡田家住宅	1棟	千里山西5丁目	個人	昭和初期の 郊外型住宅
〃	平成18年10月18日 (2006年)	亓家住宅 主屋ほ か	5棟	内本町2丁目	個人	江戸中期・後 期、明治の大 型民家建築
〃	平成19年7月31日 (2007年)	関西大学簡文館	1棟	山手町3丁目	関西大学	昭和初期の 図書館建築
〃	平成23年6月27日 (2011年)	本山彦一蒐集 考古資料	18,945点	山手町3丁目	関西大学	
登録 記念物	平成25年8月1日 (2013年)	旧中西氏庭園	1	岸部中4丁目	吹田市 個人	近世後期～近 代に造営・改 修された庭園
〃	平成25年8月1日 (2013年)	旧西尾氏庭園	1	内本町2丁目	国	明治～大正時 代に造営・改 修された庭園

イ 大阪府文化財保護条例で指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
有形 文化財	昭和45年2月20日 (1970年)	圓照寺木造 准胝観音立像	1軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	昭和45年2月20日 (1970年)	佐井寺木造 地藏菩薩立像	1軀	佐井寺1丁目	佐井寺	平安時代前期
〃	昭和47年3月31日 (1972年)	紫雲寺本堂 内陣鳥獣図	82面	山田東2丁目	紫雲寺	江戸時代
〃	昭和49年3月29日 (1974年)	圓照寺木造 観音菩薩立像	2軀	山田東3丁目	圓照寺	平安時代前期
〃	平成3年3月29日 (1991年)	新芦屋古墳 出土馬具	一括	岸部北4丁目	吹田市 教育委員会	古墳時代後期
〃	平成23年1月14日 (2011年)	山田伊射奈岐 神社本社本殿	1棟	山田東2丁目	伊射奈岐神社	江戸時代、 17世紀後半
有形 民俗 文化財	平成21年1月16日 (2009年)	玩具および 関連世相資料 (多田コレクション)	一括	千里万博公園 10番1号	国立民族学 博物館	江戸時代～現 代/13,895件、 56,083点

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保管者	備考
史跡	平成5年3月31日 (1993年)	吉志部瓦窯跡 (工房跡)		岸部北4丁目	吹田市	平安時代初期
無形 文化財	平成26年4月30日 (2014年)	鍛金	1件	日の出町	三好正豊 (三好光正)	

ウー1 吹田市文化財保護条例により指定されているもの

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は 保護団体	備考
有形 文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本著色 妙音天像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	鎌倉時代末期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	中西家住宅 附・木樋ほか	9棟	岸部中4丁目	吹田市 個人	内、7棟国登録 有形文化財
〃	平成21年2月23日 (2009年)	玉林寺文書 附・包紙ほか	6通	出口町10番	玉林寺	戦国時代
〃	平成21年2月23日 (2009年)	佐井寺伊射奈岐 神社社号標石	1基	佐井寺1丁目	伊射奈岐神社	江戸中期
〃	平成18年5月23日 (2006年)	五反島遺跡出土鏡	1面	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	奈良時代、 8世紀
〃	平成21年2月23日 (2009年)	垂水南遺跡出土 墨書土器	27点	岸部北4丁目 (市立博物館)	吹田市 教育委員会	平安時代
〃	平成23年4月11日 (2011年)	蔵人稲荷神社 本殿	1棟	豊津町	稲荷神社氏子	江戸時代、 17世紀後期
〃	平成23年4月11日 (2011年)	江坂素盞鳴尊神社 本殿	1棟	江坂町3丁目	素盞鳴尊神社	江戸時代、 17世紀後期
有形 民俗 文化財	平成10年9月30日 (1998年)	六地藏地車 附・棟札	1台	高浜町	六地藏自治会	天保10(1839)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	西奥町地車	1台	高浜町	西奥町自治会	天保期建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	神境町地車 附・棟札	1台	南高浜町	神境町自治会	天保13(1842)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	川面町地車 附・棟札	1台	西の庄町	川面町自治会	嘉永7(1854)年 建造

種別	指定年月日	名称	員数	所在地	所有者又は保護団体	備考
有形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	金田町地車 附・棟札	1台	金田町	金田町自治会	嘉永7(1854)年 建造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	浜の堂地車	1台	西の庄町	浜の堂自治会	幕末～明治期建 造
〃	平成10年9月30日 (1998年)	都呂須地車	1台	内本町2丁目	都呂須自治会	天保6(1835)年 建造
無形民俗文化財	平成23年4月11日 (2011年)	吉志部神社のどんじ 附・當人文書ほか		岸部北4丁目	吉志部神社 どんじ保存会	
天然記念物	平成23年4月11日 (2011年)	ヒメボタル生息地と そのヒメボタル		吹田千里緑地 第4区	吹田市	

ウー2 吹田市文化財保護条例により登録されているもの

種別	登録年月日	名称	員数	所在地又は主たる事務所の所在地	所有者又は保護団体	備考
地域有形文化財	平成10年9月30日 (1998年)	絹本墨画 不動明王像	1幅	山田東3丁目	圓照寺	南北朝時代
地域有形民俗文化財	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊 神社太鼓御輿	1台	江坂町3丁目	江坂連合自治会	嘉永6(1853)年
地域無形民俗文化財	平成10年9月30日 (1998年)	山田伊射奈岐 神社太鼓神輿			山田伊射奈岐 神社太鼓神輿 保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	泉殿宮神楽獅子			泉殿宮神楽 獅子保存会	
〃	平成10年9月30日 (1998年)	権六おどり			山田地区権六 おどり保存会	
〃	平成21年2月23日 (2009年)	江坂素盞鳴尊神社 太鼓御輿神事			江坂連合自治会	

(2) 歴史的建造物保存・活用事業

国指定重要文化財である旧西尾家住宅（内本町2丁目）は、近代和風建築として重要な建造物であり、旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）として一般公開している。

また、国登録有形文化財及び市指定有形文化財である中西家住宅（岸部中4丁目）は、中西家より市に寄附していただき、平成19年（2007年）11月17日から旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開している。

ア 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）

（ア）平成27年度（2015年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）事業

年月日	事業名	内容	参加者
平成27(2015)年4月18日 ～ 平成27(2015)年5月6日	端午の節句	節句行事として五月人形と鯉のぼりを展示	延べ535名
平成27(2015)年4月26日	春の大茶会	露地（待合）側で大茶会を開催	31名
平成27(2015)年5月1日 ～ 平成27(2015)年5月2日	吹田くわいの苗を配布	期間中に吹田くわいの苗を希望者に配付	延べ129名
平成27(2015)年5月10日 ～ 平成28(2016)年3月8日	和の学校伝統文化こども教室（茶道）	和の伝統文化こども教室として、小・中学生を対象に主屋和室等において茶道教室を開催	延べ197名
平成27(2015)年7月1日 ～ 平成27(2015)年7月7日	七夕まつり	前庭・計量部屋に笹飾りの展示	延べ63名
平成27(2015)年9月22日 ～ 平成27(2015)年9月23日	観月会	関西大学文化会による能や和楽器の演奏。茶室や庭園にあかりをともし、夜間公開	延べ147名
平成27(2015)年10月23日 ～ 平成27(2015)年11月16日	菊花展示会	吹田市菊花連盟会員の作品を主屋前等に展示	延べ697名
平成27(2015)年10月24日	秋の大茶会	主座敷で大茶会を開催	71名
平成27(2015)年10月31日	第一回 西尾家講座	専門者を講師として迎え、西尾家の魅力を伝える講座を開催	28名
平成27(2015)年11月15日	貴志康一メモリアルコンサート	マンドリン、バイオリンの演奏とソプラノ歌手による歌唱	177名
平成27(2015)年12月20日	和の学校伝統文化こども教室（正月飾り）	和の学校伝統文化こども教室として小・中学生と親を対象にしめ縄を手作りする	12名
平成27(2015)年12月26日 ～ 平成28(2016)年1月15日	門松・しめ縄飾り	正門に門松としめ縄を飾る	延べ93名
平成28(2016)年1月16日 ～ 平成28(2016)年1月24日	墨を使った作品展	書、水墨等の作品展	延べ386名
平成28(2016)年2月13日 ～ 平成28(2016)年3月3日	ひな祭り	雛飾りの展示、子ども衣装着付けなどの開催	延べ439名
5月・9月・11月・3月第4日曜日	定例茶会	積翠庵などを使った茶会	延べ96名

（イ）平成27年度（2015年度）旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）来館者数 7,380人

イ 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）

（ア）市指定有形文化財及び国登録有形文化財である中西家住宅を保存し、その価値をいかした活用を図ることにより、地域の伝統文化の継承と新たな文化の創生に資することを目的とし、旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）として一般公開や迎賓施設としての使用を行った。また、4月4日から4月12日、11月21日から11月29日にそれぞれ春と秋の特別公開を行った。

（イ）平成27年度（2015年度）旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）来館者数 1,586人

青少年室

1 青少年指導員制度（指導員167人、平成28年（2016年）4月1日現在）

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| (1) 学校・青少年関係団体との情報交換と連携強化 | (6) 青少年健全育成事業の推進 |
| (2) 子どもたちを温かく見守る地域づくり | (7) 青少年の健全育成啓発活動の推進 |
| (3) パトロールの強化 | (8) 環境整備活動の推進 |
| (4) こども会活動の活性化 | |
| (5) ジュニアリーダーの養成と活用 | |

2 健全育成事業

- (1) こども劇場
- (2) こども会スポーツ大会
- (3) 成人祭
- (4) 青少年野外コンサート
- (5) ヤングフェスティバル

3 指導者養成事業

- (1) 青少年リーダー講習会
- (2) 三島ブロックこども会育成者研修会
- (3) 吹田市・若狭町こども会リーダー交歓会
- (4) 青少年指導者講習会

4 非行防止、環境整備対策

青少年指導員、地区青少年対策委員会、PTA、自治会、その他青少年関係機関・団体の協力を得て、街頭指導及び一般市民への啓発活動を行う。

(1) 環境整備活動の推進

7月の「社会を明るくする運動月間」及び11月の「子ども・若者育成支援強調月間」に青少年指導員並びに地域の各種関係団体の協力を得て、全市一斉合同パトロールを行い、青少年の非行防止のための街頭指導、危険箇所の点検を行う。

(2) 「少年を守る日」の運動

毎月5日を「少年を守る日」と定め（府下全域）、青少年指導員を中心に地域の青少年関係者が街頭指導等「愛の一声運動」を実施し、青少年の自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に関する市民一般の理解と協力を得るよう啓発活動を実施する。

(3) 青少年社会環境実態調査の推進

青少年が健全に成長できる環境づくりを効果的に推進するため、関係事業者の業務状況を把握していく。

(4) 子ども・若者育成支援強調月間運動の推進

11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、家庭、地域へ非行防止の啓発を図るとともに、それぞれの地域で講演会、座談会、映画会、その他文化、体育諸行事を実施し、青少年問題について市民意識の高揚を図る。

(5) 地域安全・青少年育成吹田市民大会

犯罪のない安全で住み良い地域社会づくりと青少年の育成を目指し、学校・家庭・地域が一体となった啓発の場とする。

主 催：吹田市、吹田市教育委員会、吹田警察署、
市民大会実行委員会（構成団体19団体、協賛団体40団体）

日 時：平成27年(2015年)11月13日

会 場：吹田市文化会館

参加者：1,100人

5 青少年団体の育成援助

(1) 地区青少年対策委員会への助成

地域における青少年に関係ある機関・団体で構成されている委員会へ助成することにより、地域における総合的青少年活動の推進を図る。

(2) こども会育成協議会（市こ協）の育成指導

加盟こども会の推移（各年度末現在）

年度	区分	こども会数	会 員 数	リーダー数	育 成 者 数
平成25(2013)		212	6,980	182	4,806
〃 26(2014)		208	6,507	180	4,515
〃 27(2015)		196	6,007	168	4,244

6 こどもプラザ事業

水曜日の放課後や長期休業日及び土曜日に、子供たちが安心して安全に活動できる場所や機会を小学校を主な会場として提供し、地域との協働によって見守り、育むことを目的としている。

平成27年度（2015年度）実施校：市内全36小学校

7 地域教育協議会への委託

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、協働して青少年の成長を見守り育む教育コミュニティづくりを目指し、様々な活動のネットワーク化を図るための事業を、平成13年度(2001年度)に全18中学校区に設置された地域教育協議会に委託する。

自然体験交流センター

1 施設の概要

位置 藤白台5丁目20番1号
目的 青少年に集団での生活を通じて自然と共生し、あらゆる生物のいのちの尊さを体感する場を提供するとともに、市民に自然をいかした生涯学習及び交流の場を提供し、青少年の社会性及び豊かな人間性を育むことを目的とする。

敷地面積 48,933㎡

(1) キャンプサイト

開設年月日 昭和36年(1961年)12月14日

建築面積 992.62㎡

延べ床面積 1,066.86㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造平屋建(旧管理棟、野外食堂、多目的ホール、便所・シャワー室、わんぱくサイト便所)
木造平屋建(キャビン2棟)

(2) 本館棟

開設年月日 平成21年(2009年)7月1日

建築面積 1,163.54㎡

延べ床面積 1,975.85㎡

構造・規模 鉄筋コンクリート造2階建(宿泊室、食堂、浴室、研修室、会議室、工作室、事務室等)

2 施設の利用状況 平成27年度(2015年度) (単位:人)

利用者延べ人数	男	21,453
	女	22,419
	計	43,872

3 センター主催事業 平成27年度(2015年度)

わくわくサマーキャンプ、ウインターキャンプ、スプリングキャンプ、リーダーシップキャンプ、わくわくファミリーデイキャンプ、わくわくファミリーキャンプ、幼児の自然体験活動プロデュース、こどもエコクラブ、地域の環境保全講座、千里の森里山保全学習事業、自然観察会、草花遊び教室、バンブージャンプクラブ、自然の中で楽しむ食育講座、自然素材のハンドメイド講座、学びのカレッジ、ふれあい交流広場、森のようちえん、おとなのアウトドアクラブ、のびのびキャンプクラブ、発達を理解するための研修会、いざっ!という時の生活術、キャンプカウンセラー養成事業、野外教育・自然体験活動指導者養成事業、環境学習ワークショップ

4 施設の運営

指定管理者 一般財団法人 大阪市青少年活動協会による管理

(指定期間:平成24年(2012年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日まで)

少年自然の家

1 施設の概要

位 置	滋賀県高島市今津町南生見
目 的	少年を自然に親しませ、自然の中での集団宿泊生活を通じて、心身の健全な育成を図る。
敷地面積	41,782.0㎡
建築面積	1,472.1㎡
延べ床面積	2,744.3㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造2階建一部地階
構造・規模	宿泊室24室、リーダー室2室、体育室、食堂、浴室、野外食堂2棟、キャンプ場等
宿泊定員	本館 208人、キャンプ場 100人
開設年月日	昭和55年(1980年)5月5日

2 施設の利用状況 平成27年度(2015年度)

(1) 利用人数等

実 人 員	男	5,517	利 用 日 数 別 延 べ 人 員	日 帰 り	1,279
	女	5,070		1泊2日	16,764
	計	10,587		2泊3日	2,340
延 べ 人 員	男	11,119		3泊以上	737
	女	10,001		計	21,120
	計	21,120		本 館	16,162
利 用 率	開 所 日 数	313	利 用 箇 所 別 延 べ 人 員	野 外	1,615
	利 用 日 数	245		本 館 ・ 野 外	3,343
	利 用 率 (%)	78.3		計	21,120

(2) 団体別利用状況

団体別延べ人数	学 校	小 学 校	団 体 数	29
			延 べ 人 数	5,614
		中 学 校	団 体 数	3
			延 べ 人 数	782
		子 ども 会 等	団 体 数	270
			延 べ 人 数	10,342
	指 導 者 団 体	団 体 数	2	
		延 べ 人 数	234	
	主 催 事 業	家 族 デ ー	団 体 数	19
			延 べ 人 数	2,312
		自 然 の 家	団 体 数	22
			延 べ 人 数	1,370
		そ の 他	団 体 数	4
			延 べ 人 数	210
保 育 園 等 日 帰 り	団 体 数	16		
	延 べ 人 数	256		
そ の 他	団 体 数	0		
	延 べ 人 数	0		
計	団 体 数	365		
	延 べ 人 数	21,120		

(3) 少年自然の家主催事業（共催事業含む）

「少年キャンプ大会」、森林体験「ふれあいの森」、家族デー、自然観察会、少年の村、グラウンドゴルフオープンデー

青少年クリエイティブセンター

1 施設の概要

目 的 青少年の人権意識の醸成を図り、青少年の学習活動や交流の促進・支援をし、全ての人権問題や社会的課題の解決を目指す人間性豊かな青少年の育成を行う。
(平成24年(2012年)3月30日条例改正)

施 設 青少年会館、体育館と運動広場を有し、概要は次のとおりである。

	青 少 年 会 館	体 育 館	運動広場(愛称：光のひろば)
位 置	岸部中1丁目16番1号		岸部中1丁目18番1号
開館年月日	昭和56年(1981年)4月1日		平成7年(1995年)5月1日
敷地面積	3,364.7㎡		11,512㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造・鉄 骨造平屋建一部2階建	
建築面積	778.5㎡	1,013.6㎡	
延べ床面積	2,051.6㎡	1,274.2㎡	

青少年会館は、学習・文化活動のための施設として、1階に遊戯室など、2階に学習室3室のほか、工作室、絵画室、和室などがあり、3階は視聴覚室・研修室などとなっている。

体育館は、バレーボール、バドミントンなどができる体育室と56畳の武道室があり、2階部分は卓球室となっている。

運動広場は、少年ソフトボール、ミニサッカー、スリーオンスリーなどができる多目的広場となっている。

2 事業

青少年の学習活動と交流等の促進・支援及び保護者の子育て等を支援し、地域における青少年の健全育成と人権教育の推進を図ることを目的に4つの事業を実施している。

- (1) 学習活動推進事業では、自然観察等の体験活動、リーダー養成、学習会、自習室の提供等を実施している。
- (2) 交流推進事業では、青少年交流フェスティバルの開催や柔道、剣道等の教室、サークル活動等を実施している。
- (3) 子育て支援の推進事業は、小・中学生を対象とした子どもクラブ活動や人権講座、子育て相談等を実施している。
- (4) 情報提供事業では、広報誌による各事業の紹介や情報の提供を行っている。

3 平成27年度(2015年度)施設利用状況

青少年会館	1万7,032人	体育館	1万9,943人	運動広場	2万1,912人	
					計	5万8,887人

子育て青少年拠点夢つながり未来館（愛称：ゆいぴあ）

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位置	山田西4丁目2番43号
目的	青少年が様々な活動を通じて、人と触れ合い、情報と出会い、その成長に応じた支援を受けることができる居場所であり、また安心して子育てができる環境をつくり、子育ての知識、体験等をここで学び合うための施設であり、さらにここを訪れる様々な年代の市民が図書館という情報の拠点も活用しながら、施設全体として子供たちが生まれてから子育て・子育てを経て成長し、自立するまでをトータルで支援することを目的としている。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	7,585.48㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建
	B2階 山田駅前図書館、駐輪場
	B1階 図書館事務室、管理事務室、駐車場、バイク置場、その他
	1階 エントランスホール、のびのび子育てプラザ

2階	青少年活動サポートプラザ（青少年相談）
3階	青少年室、青少年活動サポートプラザ事務室
4階～6階	青少年活動サポートプラザ

2 事業

子育てふれあい体験

ゆいぴあの施設連携事業として、吹田市内の高校生年代から30歳未満の青少年を対象に子育て体験事業を行った。平成27年度(2015年度)は保育実習として吹田東高等学校の生徒の受け入れを行い、27名の青少年が子育てを体験した。

一般公開講座

ゆいぴあの施設連携事業として、一般公開講座「子どもの育ちによりそう子育て」を開催し、15人の参加があった。

ゆいぴあ開館5周年記念事業「みんなおいでよGO!周年」

平成28年(2016年)3月26日にゆいぴあ開館5周年を記念し、連携事業を行った。当日は1,500人の参加があった。

子育て青少年拠点夢つながり未来館青少年活動サポートプラザ

1 施設の概要

開設年月日	平成23年(2011年)3月26日
位 置	山田西4丁目2番43号
目 的	青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場を提供するとともに、その成長又は発展に応じた支援を行うことを目的とする。
敷地面積	2,348.32㎡
建築面積	1,319.50㎡
延べ床面積	5,726.26㎡
構造・規模	鉄筋コンクリート造地上7階地下2階建のうち2階～6階部分
	2階 相談事務室、個別相談室、その他
	3階 事務室、交流ロビー、学習室1、学習室2
	4階 多目的会議室、工作室、調理室、和室、その他
	5階 多目的リハーサル室、スタジオ、更衣室、その他
	6階 多目的ホール

2 貸室利用状況 平成27年度(2015年度)実績

利用件数(件)	12,605	
利用人数(人)	男	46,386
	女	96,910
	計	143,296

3 青少年活動サポートプラザ主催事業

ゆいぴあ（未来館）'s キッチン、ふらっと体験、夏祭り、七夕飾り付け、壁面飾り付け、ゆいぴあ
ドラム教室、英会話喫茶ミライカフェ、国際交流事業、多目的ホール開放事業、夏休み宿題大作戦、
目指せ一番、高齢者疑似体験、新春！真剣！羽根つき！、科学実験ゆいぴあラボ、ホワイトデー大作
戦、バスケットボール『3on3大会』、絵本の世界を現実に、Wh a l e フェスティバル、一般公開
講座「ひきこもりと不登校を考える」、「現在の子育てに寄り添う」、若者のためのコミュニケーション
力アップ講座

4 青少年交流活動支援事業

青少年の自立や社会参画を促すことを目的とした居場所づくりや青少年の自主的な活動に対し必要
に応じた支援を行う。また青少年講座や各種イベントの企画、運営さらにロビーワーカー（青少年ボ
ランティア）の人材確保や育成を行う。

5 青少年相談事業

ひきこもり、ニート、不登校、など様々な生きづらさを感じて、社会とのつながりが少なくなっ
ている青少年やその家族に対し、臨床心理士など専門の資格を有した相談員がその自立を支援する。

平成27年度（2015年度）実績

相談ケース数	255ケース（うち平成27年度（2015年度）新規ケース 137ケース）
相談回数	2,804回

留守家庭児童育成室

昭和41年(1966年)9月から実施し、昭和49年(1974年)4月に教育委員会（社会教育課）から民生部
（福祉庶務課）へ移管される。

昭和57年(1982年)4月に吹田市留守家庭児童育成室条例を制定し、吹田市留守家庭児童会設置要綱
は廃止した。また、同年8月に福祉庶務課から分離し、児童育成課が発足した。

平成27年(2015年)4月開設の千里丘北育成室については、民間委託により運営を行っている。また、
平成28年(2016年)4月より、山三・青山台育成室の運営を民間委託により行っている。

(1) 趣 旨

保護者の労働、疾病その他の理由により、家庭において必要な保育を受けることが困難である児童
（小学校の第1学年から第3学年まで）の健全な育成を図る。

平成26年(2014年)4月より、配慮を要する児童について、モデル事業として一部の育成室におい
て、4年生以降の受入れを行う。

(2) 開 設 期 間

月曜日から金曜日及び毎月第4土曜日。ただし、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年
始（12月29日から翌年1月3日まで）を除く。

開室時間は放課後から午後5時まで、延長保育利用時は午後6時30分（山三・青山台・千里丘北育
成室は午後7時）まで。毎月第4土曜日は午後5時まで。ただし、小学校の休業日等は午前8時30
分から、午前中に小学校の授業が終了する場合は、その終了時刻に応じて、それぞれ開室する。

(3) 保 育 料

ア 通常保育料（午後5時までの保育料）

児童1人当たり月額3,700円。

同一世帯から2人目以上の児童は1人当たり月額1,850円。児童の属する世帯の所得状況により市長が必要と認めるときは、保育料を減免する。

イ 延長保育料

児童1人当たり月額2,000円。

同一世帯から2人目以上の児童は1人当たり月額1,850円。児童の属する世帯の所得状況により市長が必要と認めるときは、保育料を減免する。

(4) 指 導 方 法

育成室の円滑な運営を図るため、育成室ごとに児童数に応じて、2～6人の指導員（非常勤職員）を配置し、個別的、集団的に次の方針により遊戯、読書、工作、自習等の指導を行う。

ア 家庭及び社会における生活を営む上で必要な基礎的習慣の習得を図る。

イ 望ましい友人関係の助長、互助協力の態度の育成を通じ、道徳性、社会性、自主自律の精神を育てる。

ウ 家庭的な雰囲気の中で情操の豊かで健全な育成を図る。

(5) 指 導 員

身 分 非常勤職員

人 数 114人（平成28年（2016年）3月1日現在）

(6) 運 営 状 況 平成27年度（2015年度）決算（見込み）

運営費総額 8億3,388万5,325円

人件費 4億6,138万2,719円

物件費 3億3,326万5,373円

内訳	}	臨時雇用員（指導員）賃金・共済費	3億331万6,253円
		備品購入費	217万584円
		消耗品費	433万2,057円
		委託料	1,981万8,675円
		その他	362万7,804円

育成室運営委託料 889万6,000円

維持補修費 825万7,069円

補助費等 490万1,520円

普通建設事業費 1,718万2,644円

(7) 実施状況 (36 育成室)

平成 28 年(2016 年) 7 月 1 日現在

育成室名	区 分	開設場所	開設年月	学級数	在籍児童数 (人)
吹田市立吹一留守家庭児童育成室		吹田第一小学校	昭和 50(1975). 5	2	57
〃 吹二	〃	吹田第二 〃	〃 46(1971). 7	2	73
〃 吹三	〃	吹田第三 〃	〃 47(1972). 4	3	94
〃 東	〃	吹 田 東 〃	〃 50(1975). 4	1	39
〃 南	〃	吹 田 南 〃	〃 53(1978). 4	3	100
〃 吹六	〃	吹田第六 〃	〃 50(1975). 4	1	45
〃 千一	〃	千里第一 〃	〃 53(1978). 4	3	108
〃 千二	〃	千里第二 〃	〃 50(1975). 4	3	112
〃 千三	〃	千里第三 〃	〃 52(1977). 4	3	102
〃 千里新田	〃	千里新田 〃	〃 54(1979). 8	2	68
〃 佐井寺	〃	佐 井 寺 〃	〃 58(1983). 4	2	48
〃 東佐井寺	〃	東佐井寺 〃	〃 57(1982). 4	2	89
〃 岸一	〃	岸部第一 〃	〃 54(1979). 4	1	30
〃 岸二	〃	岸部第二 〃	〃 51(1976). 4	2	75
〃 豊一	〃	豊津第一 〃	〃 54(1979). 4	3	140
〃 豊二	〃	豊津第二 〃	〃 54(1979). 4	2	73
〃 江坂大池	〃	江坂大池 〃	〃 55(1980). 10	1	39
〃 山手	〃	山 手 〃	〃 48(1973). 5	3	105
〃 片山	〃	片 山 〃	〃 55(1980). 4	2	73
〃 山一	〃	山田第一 〃	〃 50(1975). 4	2	69
〃 山二	〃	山田第二 〃	〃 52(1977). 4	3	90
〃 山三	〃	山田第三 〃	〃 51(1976). 4	2	42
〃 山五	〃	山田第五 〃	〃 61(1986). 4	2	49
〃 東山田	〃	東 山 田 〃	〃 56(1981). 4	4	131
〃 南山田	〃	南 山 田 〃	〃 52(1977). 5	4	183
〃 西山田	〃	西 山 田 〃	〃 54(1979). 11	1	32
〃 北山田	〃	北 山 田 〃	〃 55(1980). 4	2	81
〃 千里丘北	〃	千里丘北 〃	平成 27(2015). 4	1	40
〃 佐竹台	〃	佐 竹 台 〃	昭和 43(1968). 9	3	96
〃 高野台	〃	高 野 台 〃	〃 41(1966). 9	1	37
〃 津雲台	〃	津 雲 台 〃	〃 45(1970). 4	2	61
〃 古江台	〃	古 江 台 〃	〃 45(1970). 4	2	65
〃 藤白台	〃	藤 白 台 〃	〃 46(1971). 4	2	77
〃 青山台	〃	青 山 台 〃	〃 42(1967). 7	1	27
〃 桃山台	〃	桃 山 台 〃	〃 46(1971). 4	3	93
〃 千里たけみ	〃	千里たけみ 〃	平成 15(2003). 4	2	56
計				78	2,699